

朱書は追記：実績と今後の予定

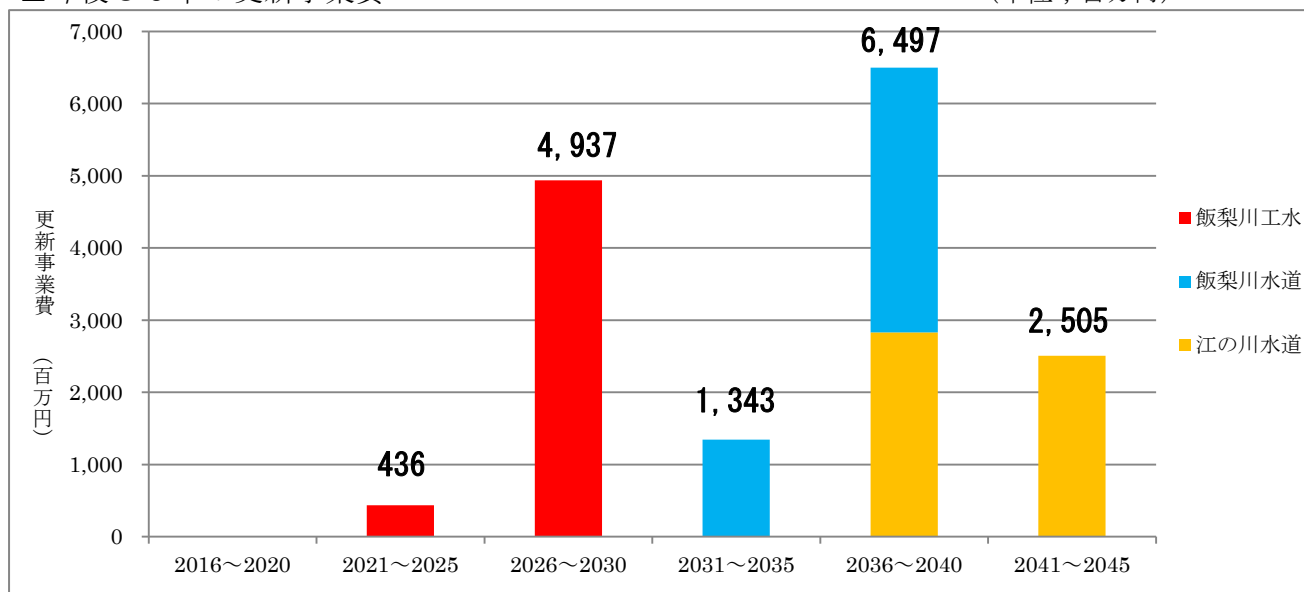
水道・工業用水の長寿命化計画策定に係る管路試掘調査事業

1. 水道・工業用水道の管路の現状等

- (1) 水道・工業用水道の管路（総延長：161km）は、最も早く建設された飯梨川工水で47年が経過
- (2) 管路を60年（法定耐用年数（40年）の1.5倍）で更新するとした場合の試算では、総額約580億円、今後30年以内に約150億円の事業費が必要
- (3) 腐食性を有する地質、土壌等により老朽化が著しい管路は、早めに更新

■今後30年の更新事業費

(単位；百万円)



注1. 江の川水道の施設移管予定の管路は除く

注2. 斐伊川水道、江の川工水には、30年以内に60年を経過する管路はなし

2. 長寿命化（更新）計画の策定

- (1) 試掘等の結果を踏まえ、施設規模（ダウンサイジングの検討）、事業費、優先順位、事業費の平準化などを盛り込んだ長寿命化（更新）計画を策定したうえで事業を実施
- (2) 国からは、施設に関する投資・財源の見通しを含む10年以上の中長期的な経営の基本計画（経営戦略）策定の要請（平成26年8月）

3. 事業内容等

(1) 事業内容

- ・飯梨川工水埋設管路の実態把握のための試掘調査の実施と施設データの整備

(2) 事業費

	(H26.10時点予定)	(実績)
・送水管試掘委託	19,419千円	7,407千円
・施設データの整備	10,537千円	10,353千円
	<u>29,956千円</u>	<u>17,760千円</u>

4. 今後のスケジュール

(H26.10時点想定) (実績及び予定)

- (1) 試掘調査とデータ整備 平成26年度～ 飯梨川工水 H26.11～H27.3 実施
- (2) 長寿命化（更新）計画の策定 平成27年度～ 飯梨川工水 H27～H29の予定